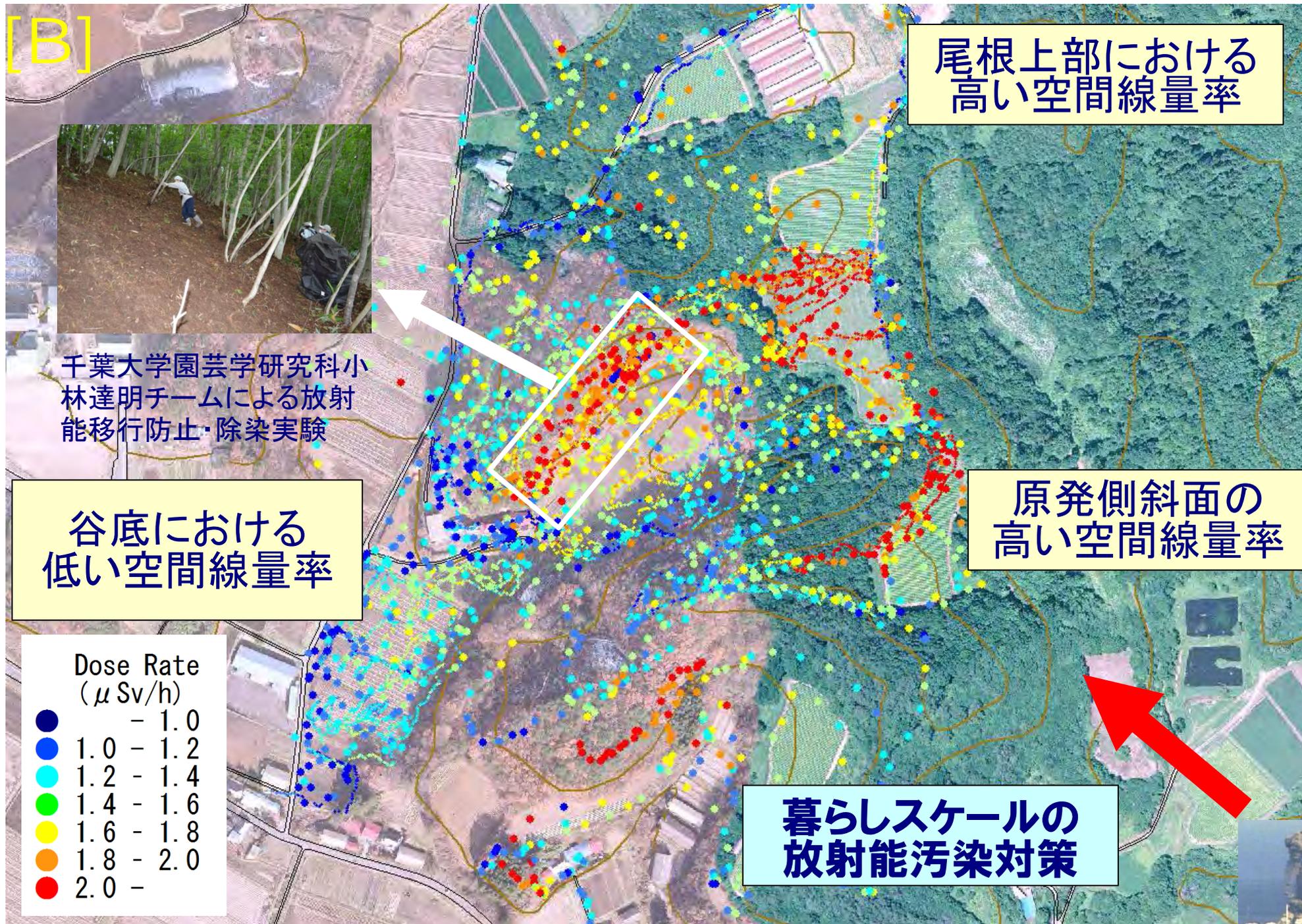


原発側斜面における高空間線量率

Base date: 28 June, 2012



チーム千葉大学の提案

“田畑・居住空間を含む里山流域を単位とする放射能対策”
⇒野田（前）首相への要望、緑化工学会アピール文、等

山村における暮らしの最小単位としての里山流域
暮らしとの関わりの程度に応じて優先順位をつけ
放射性物質の詳細分布調査を実施し
除染・封じ込め・隔離等の放射能対策を講じる



問題点・批判

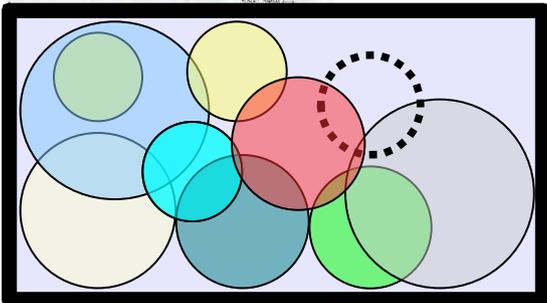
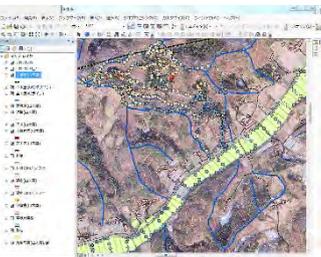
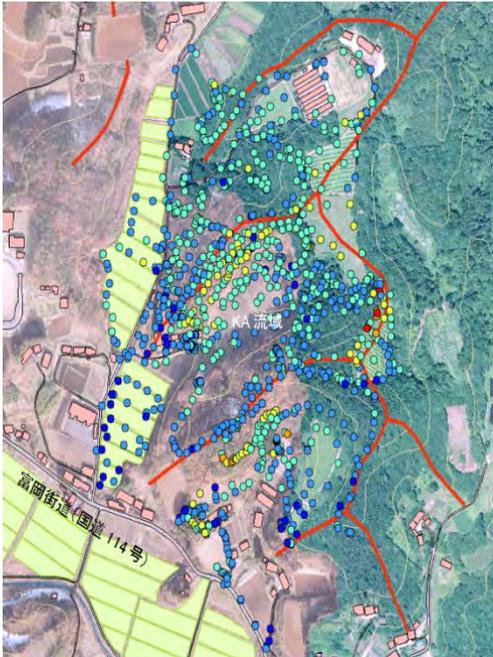
- どうやるか、コストがかかる
⇒流域ごとの中技術・小技術による対策 **— 治山・緑化の経験 —**
開拓魂！地域の山に関わり続ける！
- 誰がやるのか
⇒自分たちの手で対策を **国の施策が協働へのモチベーションを削ぐ現実**



提案型合意の形成

つらい合意ではなく希望のある合意
合意の形成過程で研究者としての
役割を果たすことを目指す

計画的避難区域における暮らしの復興を目指した住民参加 ・異分野協働の試みー千葉大学山木屋後方支援チーム



千葉大学の有志と千葉大学と関係性のある方々のチーム

放射能モニタリング
UAVの利用

移行調査
放射能対策提案
マーケット復活
ITによる情報付加

新たな商品作物
むらさき

復興GIS
自然エネルギー
災害看護
...

